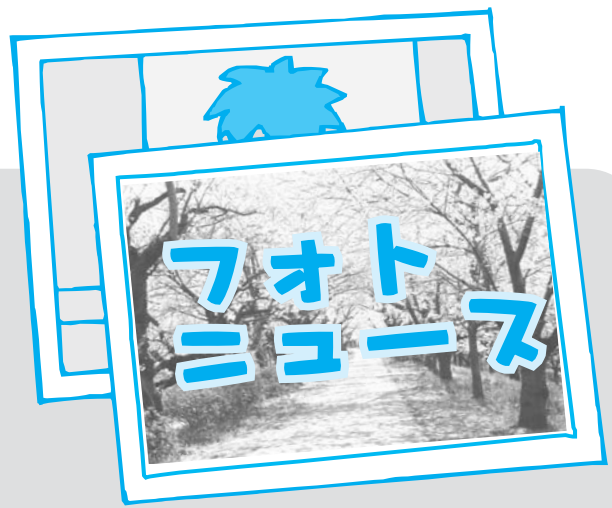




桜まつり

3月26日(木)～4月12日(日)にかけて、権現堂桜堤で桜まつりが開催されました。関東を代表する桜の名所とあって、桜まつり期間中には97万人を超える観光客が訪れ、桜と菜の花の競演を楽しんでいました。4月5日(日)には、特設ステージにおいて、さくら親善大使の引継ぎ式が行われました。

第18回さくらマラソン大会

4月5日(日)、第18回さくらマラソン大会が、幸手市体育協会および総合型地域スポーツクラブ「クラブ幸手」主催のもと行われました。

参加したランナーはおよそ4,600人。

咲きほこる桜の下を、爽やかに走り抜けていきました。



若草俳句会

「春一番・春灯・露の臺」
ほろ苦き

別れありけり露の臺

吉羽安子・外国府間

春一番

絵馬鈴生りの天神社

吉成誠介・香日向四

春一番

職失ひし人あまた

柿沼 杏・中五

春灯や

思い出にみな母が在る

三瓶悦子・緑台一

列島を

押し出す様な春一番

槇島弘子・中四

さって川柳会

給付金

早くほしいと唄も出る

長瀬光江・杉戸町

歌うのも

聞くのも疲れ老いを知る

高島一嘉・中一





みんな友だち香日向っ子

香日向小学校

香日向小学校では、1年生から6年生の全児童を縦割りに班編成し、毎週木曜日の業間時にさまざまな遊びを通して絆を深めています。

特に「ふれあい遠足」は、広い公園で思いっきり遊んだり、ゲームをしたり、車座になってお弁当を食べるなど思い出いっぱいの恒例行事になっています。「ふれあい遠足」はそれ以後の学校の活動に潤いを与え、上級生は上級生の誇りを持って下級生に接し、下級生は上級生を敬うようになります。また、登下校や休み時間には、仲睦まじく遊ぶ姿や下級生の面倒を見る上級生の姿も頻繁に見られるようになります。



「香日向っ子祭」では、上級生がリーダーシップを発揮し、個性溢れるイベントを企画して、グループメンバー全員が一丸となって取り組みます。その活動は公開され、子どもたちは保護者や地域の人たちとイベントなどを一緒に楽しめます。

「香日向っ子」は班のメンバーはもちろん、保護者をはじめ地域の人たちからパワーをもらい充実した学校生活を送っています。



◀みんなで楽しむ「香日向っ子祭」



防犯ブザー寄贈

3月30日(月)県トラック協会から、市に防犯ブザーが寄贈されました。寄贈された防犯ブザーは新入学児童に配布されました。



春の全国交通安全運動出発式

4月6日(月)幸手警察署で、春の全国交通安全運動出発式が行われました。交通事故0を目指します。



化学消防ポンプ自動車が納車されました

3月23日(月)新車両が納車されました。機動力を生かし、市民の安心・安全の確保に、より一層努めていきます。

日溜りで

新聞読んで今日も暮れ

井上 薫・東二

この辺の

幸せで良い共白髪

服部光一・中四

燎原短歌会

悪魔の手の

引きたるならんわが背の

どさり落とさる

舗装路の上に

古賀富美江・中三

子育てに

追われし日々の甦る

幼らあそぶ

畔上公園

金井啓子・緑台一

逆光の

裸木のこずゑ浮きいでて

X線写真

この頃撮らず

尾上喜子・栄六

雛の街

内裏の袴のふくらみに

享保の息は

ひそと鎮まる

前田幸子・南一

夢科の

白樺林歩みきて

耳澄まし聴く

郭公の声

齊藤洋子・大利根町